「性能協　火　防構　第５号」
（一般社団法人　建築性能基準推進協会　防耐火構造・材料部会　防耐火構造 WG)」
制定日：2021 年 5 月 11 日

屋根鋼製たるきの被覆材について

1.適用対象とする防耐火構造の種類

耐火性能試験・評価方法及び準耐火等性能試験・評価方法について適用する。

2.たるき被覆材の仕様範囲と試験体

表.たるき被覆材の仕様と試験体

項　目	仕　様	試　験　体
たるき被覆材	材料：①又は② ①繊維混入けい酸カルシウム板(JIS A 5430) 密度：0.35g/cm^{3}以上 ②吹付けロックウール 組成(質量%) ロックウール　60(±5) (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8600)、(JIS A 9504) セメント　40(±5) (ポルトランドセメント(JIS R 5210)、又は白色セメント)但し、ポルトランドセメントは普通ポルトランドセメント、早強ポルトランドセメント、超早強ポルトランドセメントのいずれかとする。 密度：0.28g/cm^{3}以上 厚さ：25mm以上	材料：① ①同左(同左) 密度：0.35g/cm^3 厚さ：25mm

【理由】

たるきを繊維混入けい酸カルシウム板で被覆した仕様で、一般社団法人日本金属屋根協会において共有していた性能評価試験の結果の内、最もたるきへの影響が大きかった仕様の抽出を行った。

同仕様について、被覆材を吹付けロックウールに変更した比較試験を建材試験センターにおいて実施したところ、吹付ロックウールで被覆した試験体の方が、たるきの温度の上昇が小さいことが確認できた。